

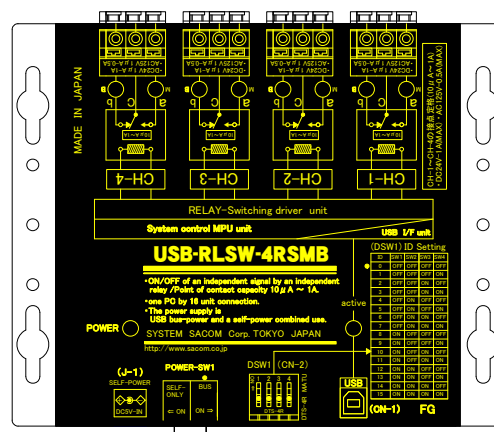
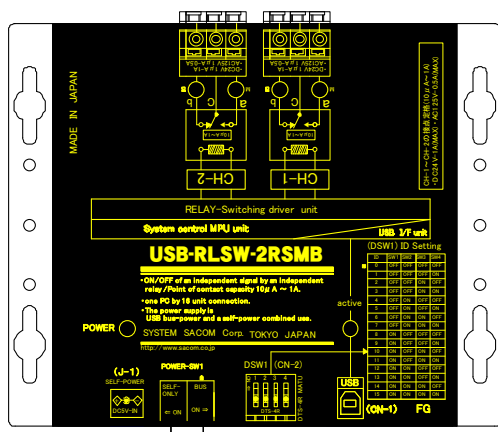
# USB インタフェース 2/4ch リレースイッチユニット

(Windows 2000/XP/Vista/7 32/64bit 対応)

## USB-RLSW-2RSMB USB-RLSW-4RSMB

無電圧接点/信号用 Ver1.61

### デバイス・ドライバー インストールマニュアル



システムサコム工業株式会社

このマニュアルは <http://www.sacom.co.jp> から最新版をダウンロードできます。  
予告なく仕様を変更することがございますのでご了承下さい。詳細はお問い合わせ下さい。

目次

<b>1 Windows 2000 または Windows XP (32bit)</b> .....	<b>3</b>
1.1 デバイス・ドライバーのインストール .....	3
1.2 サンプルプログラムによる動作確認 .....	6
<b>2 Windows Vista (32bit)</b> .....	<b>7</b>
2.1 デバイス・ドライバーのインストール .....	7
2.2 サンプルプログラムによる動作確認 .....	10
<b>3 Windows Vista (64bit)</b> .....	<b>11</b>
3.1 デバイス・ドライバーのインストール .....	11
3.2 サンプルプログラムによる動作確認 .....	15
<b>4 Windows 7 (32bit)</b> .....	<b>16</b>
4.1 デバイス・ドライバーのインストール .....	16
4.2 サンプルプログラムによる動作確認 .....	19
<b>5 Windows 7 (64bit)</b> .....	<b>20</b>
5.1 デバイス・ドライバーのインストール .....	20
5.2 サンプルプログラムによる動作確認 .....	22
<b>6 連絡先</b> .....	<b>23</b>

このインストールマニュアルはお使いの PC で本製品をご使用の際に必要なドライバーをインストールする手順を説明したものです。

インストール時には装置本体およびお使いになられる PC(パーソナルコンピューター)の他に付属の USB ケーブル(A-B タイプ)、付属の CD-ROM をご用意ください。

※本マニュアルは弊社ホームページ <http://www.sacom.co.jp> からダウンロードできます。

## デバイス・ドライバーのインストールと動作確認

### 1 Windows 2000 または Windows XP (32bit)

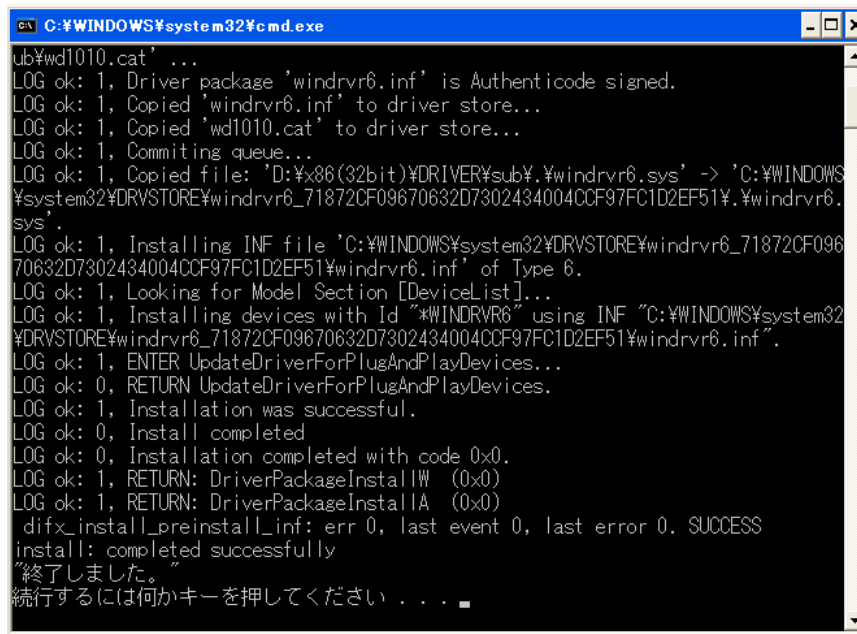
- ・以下の作業は本機を最初にご使用になる際の初回のみ行います。
- ・2 回目以降は本機をご使用のコンピュータに接続すると自動的に認識します。
- ・設定されている権限によってはドライバのインストールが出来ない事があります。
- ・その場合適切な権限のユーザでインストールするか、ご使用システムの管理者にお問い合わせ下さい。

#### 1.1 デバイス・ドライバーのインストール

1. 本機本体はまだ接続しないでください。付属の CD-ROM を PC の CD-ROM ドライブにセットします。
2. CD-ROM 内の「x86(32bit)¥DRIVER」フォルダを開き、ドライバーフォルダ内にある「INSTALL」ファイル(お使いのシステムの設定によっては「INSTALL.BAT」と表示されます)をダブルクリックして実行します。



3. “システムファイルをインストールしています”、“ドライバファイルをインストールしています”と表示され、しばらくすると終了します。何かキーを押して画面を閉じます。

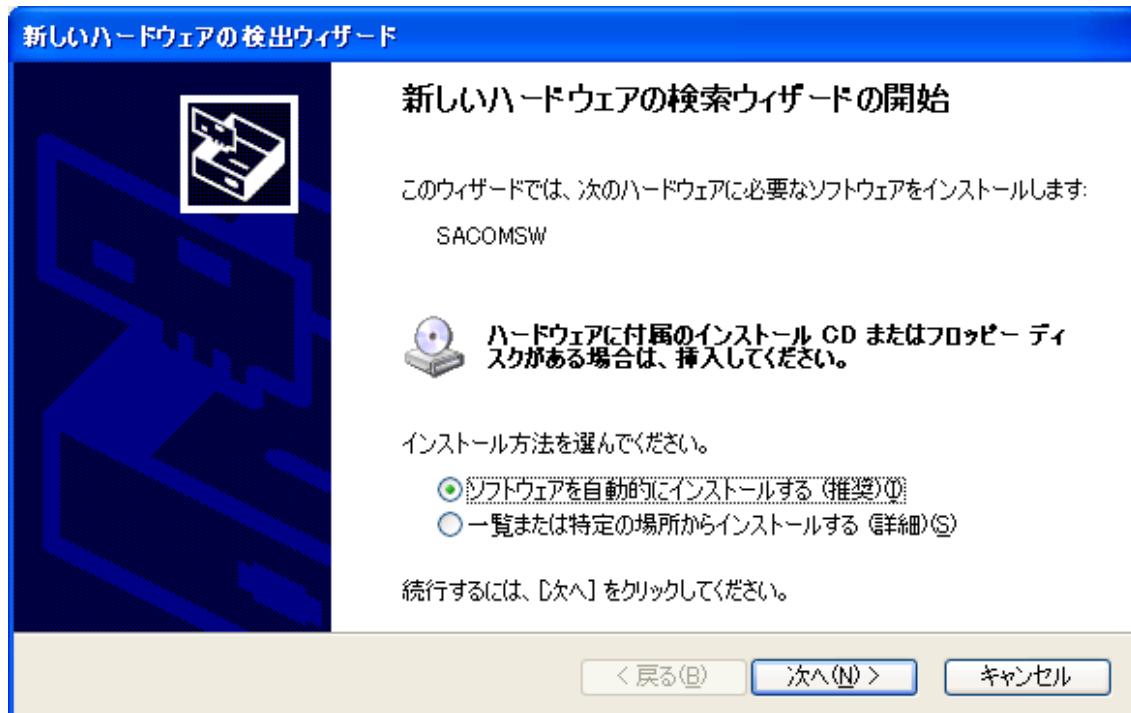


```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
ub\wd1010.cat' ...
LOG ok: 1, Driver package 'windrvr6.inf' is Authenticode signed.
LOG ok: 1, Copied 'windrvr6.inf' to driver store...
LOG ok: 1, Copied 'wd1010.cat' to driver store...
LOG ok: 1, Committing queue...
LOG ok: 1, Copied file: 'D:\x86(32bit)\DRIVER\sub\windrvr6.sys' -> 'C:\WINDOWS\system32\DRVSTORE\windrvr6_71872CF09670632D7302434004CCF97FC1D2EF51\windrvr6.sys'
LOG ok: 1, Installing INF file 'C:\WINDOWS\system32\DRVSTORE\windrvr6_71872CF09670632D7302434004CCF97FC1D2EF51\windrvr6.inf' of Type 6.
LOG ok: 1, Looking for Model Section [DeviceList]...
LOG ok: 1, Installing devices with Id '*WINDRVR6' using INF 'C:\WINDOWS\system32\DRVSTORE\windrvr6_71872CF09670632D7302434004CCF97FC1D2EF51\windrvr6.inf'.
LOG ok: 1, ENTER UpdateDriverForPlugAndPlayDevices...
LOG ok: 0, RETURN UpdateDriverForPlugAndPlayDevices.
LOG ok: 1, Installation was successful.
LOG ok: 0, Install completed
LOG ok: 0, Installation completed with code 0x0.
LOG ok: 1, RETURN: DriverPackageInstallW (0x0)
LOG ok: 1, RETURN: DriverPackageInstallA (0x0)
difx_install_preinstall_inf: err 0, last event 0, last error 0. SUCCESS
install: completed successfully
"終了しました。"
続行するには何かキーを押してください . . .

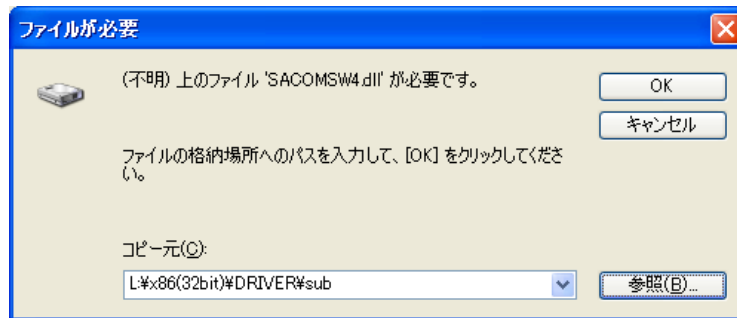
```

4. 本機の接続を行うと自動的にデバイスの情報を取得し、下記の画面が表示されます。



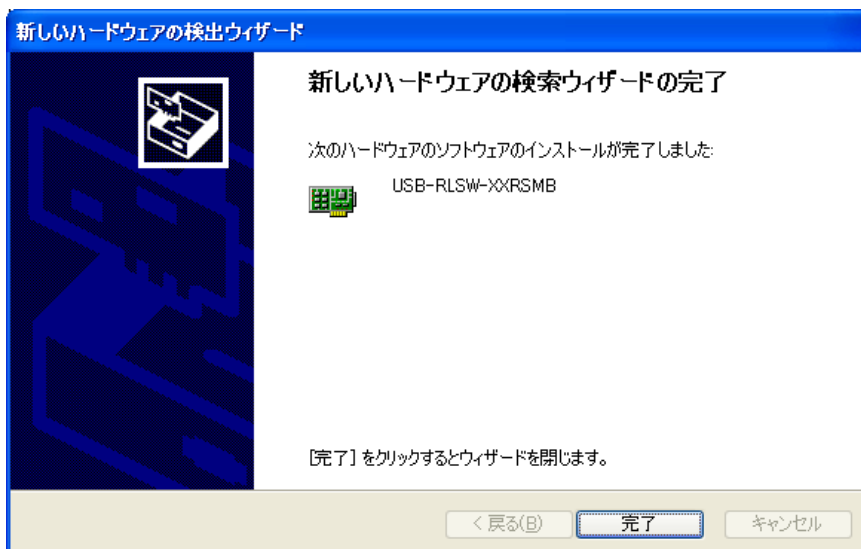
「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)」を選択して**次へ(N) >**をクリックします。

4. 下記の画面が表示されたらコピー元を確認して **OK** をクリックします。コピー元が、ドライバをセットした CD-ROM ドライブと違う場合は、参照ボタンをクリックして下記の表示ができるように変更します。(CD-ROM ドライブ **L:** に附属デバイス・ドライバ CD-ROM をセットした場合の例です。ドライブ番号 **L:** はお客様によって異なります。)



ドライバのインストールが開始されます。

5. 最後に下記の画面が表示されますので、確認の上 **完了** をクリックします。



コンピュータを再起動してインストールを完了させます。

※ 上記のようにならない場合や Windows のデバイスマネージャーで本機に【!】や【?】が付いている場合は一旦ドライバーを削除してください。

※ Windows XP の場合は、「一覧または特定の場所からインストールする」を選択して、CD 中の **x86(32bit)\*DRIVER\*sub\*SACOMSW4.inf** を選択してやり直してください。

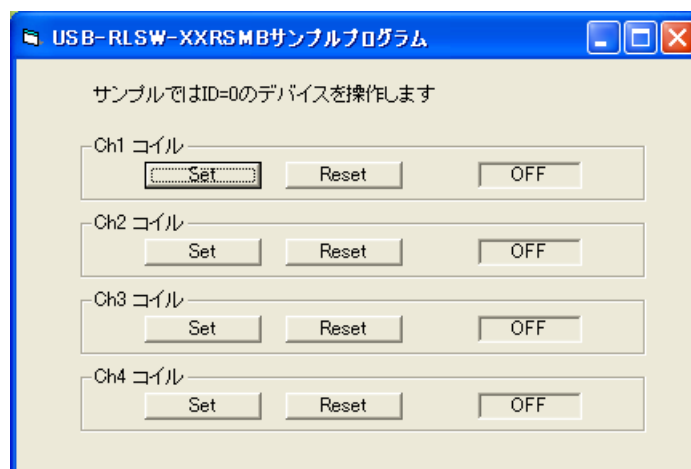
Windows 2000 の場合は、「デバイスに最適なドライバをインストールする」を選択して、場所を指定にチェックしてインストールしてください。

Windows OS は最新のバージョンおよび最新のサービスパックを推奨いたします。

## 1.2 サンプルプログラムによる動作確認

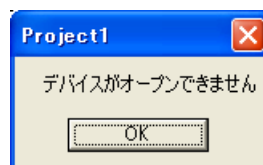
附属 CD-ROM には、サンプルプログラムとして VB6(Microsoft Visual Basic 6.0)、VC(Microsoft Visual C++ 6.0)、VBNET(Microsoft Visual Basic .NET 2003)の3種類を収録してあります。VB6 と VBNET のコンパイル結果としての実行ファイル (VB6⇒Project1.exe) (VBNET⇒WindowsApplication1.exe) があります。VC や VBNET の実行は、MFC やネットフレームワークのインストール等が必要なため、開発環境をインストールした PC もしくは、開発環境に詳しい方の下でお試ください。ここでは、比較的 PC 環境の依存度が低い VB6 サンプルの実行ファイル Project1.exe を使用してインストールが正常に行われているかを確認します。(PC の環境により日本語が文字化けする場合がありますが動作に支障はありません)

本機を接続したまま、附属 CD-ROM より¥x86 (32bit)¥DEV¥VB6¥Project1.exe を PC の任意の場所のハードディスクフォルダへコピーしてダブルクリックします。



サンプルでは本機の ID が 0(全て OFF)になっている場合のみ上記の画面が表示されます。ここで各々 Set や Reset ボタンを操作することにより、リレーの動作音が鳴り接点が開閉(本機 LED または本機 a/c/b 接点をテスタ等でチェック)することを確認できます。

ID が 0 以外など何らかの原因で本機の USB 接続に問題がある場合には下記の画面が表示されます。その際に Windows のデバイスマネージャー上で本機 USB の抜き差しに反応する【?】や【!】が表示されているハードウェアがあれば、そのドライバーを削除後 PC を再起動し、あらためて本機デバイス・ドライバーのインストールを行います。

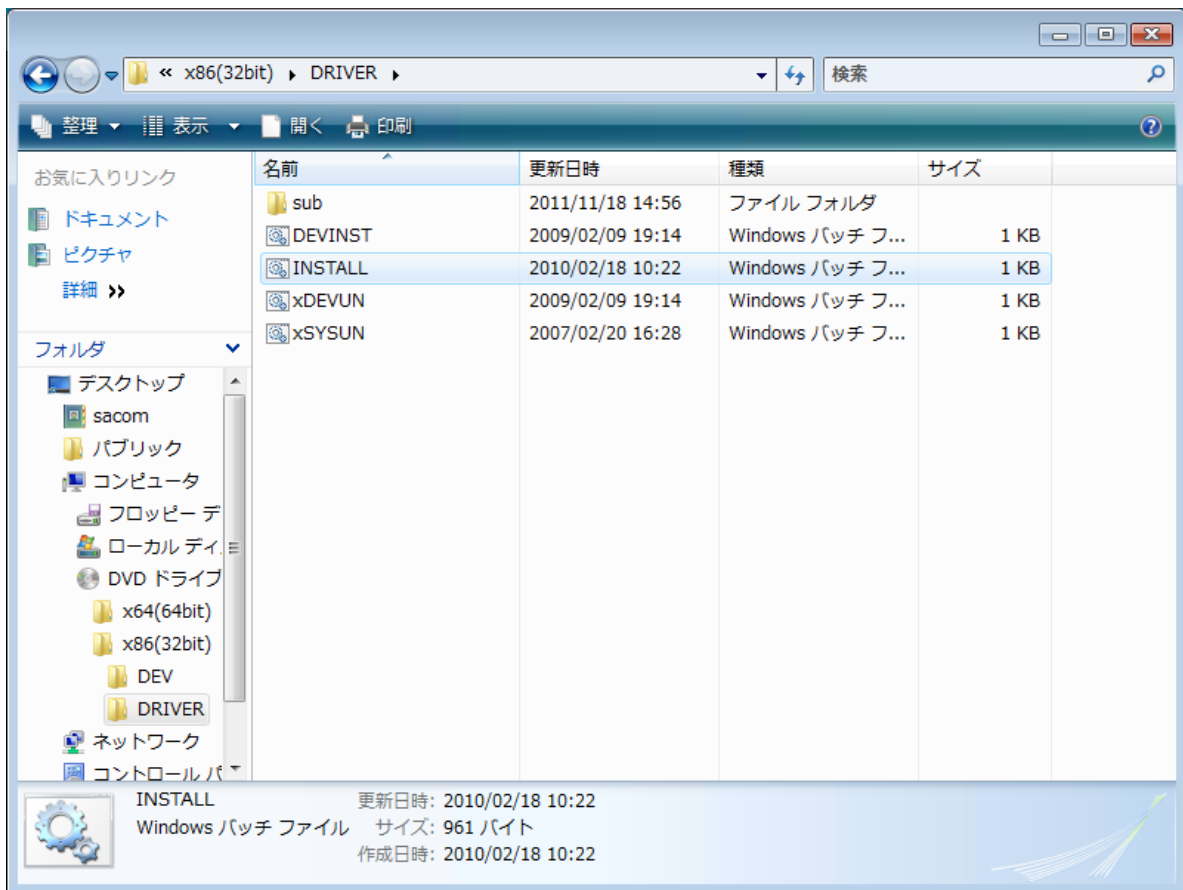


## 2 Windows Vista (32bit)

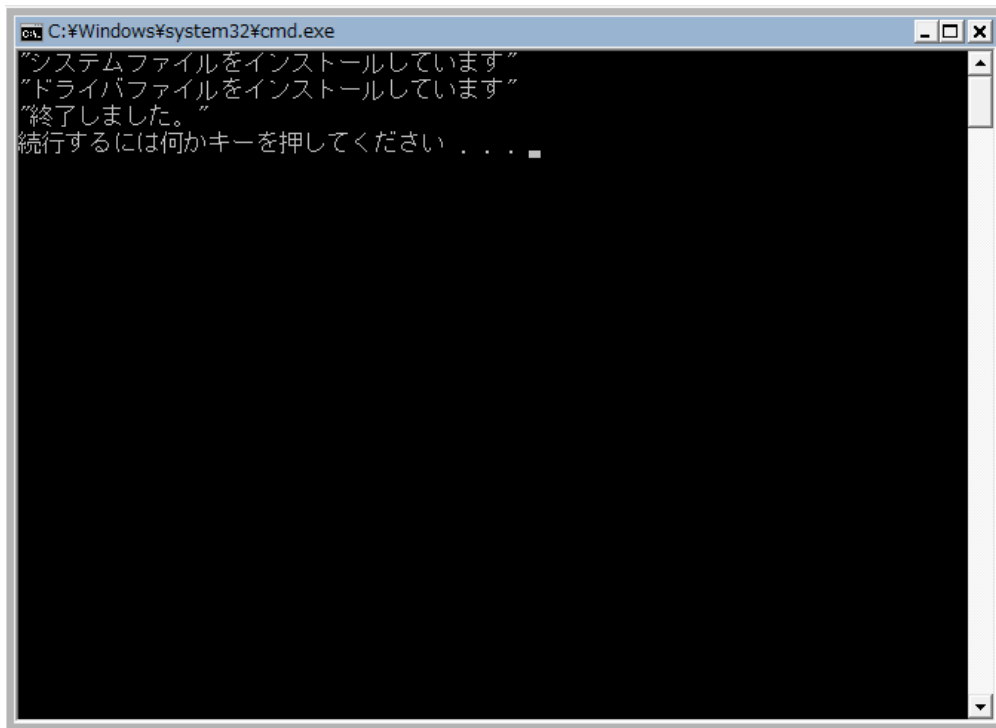
- ・以下の作業は本機を最初にご使用になる際の初回のみ行います。
- ・2回目以降は本機をご使用のコンピュータに接続すると自動的に認識します。
- ・設定されている権限によってはドライバのインストールが出来ない事があります。
- ・その場合適切な権限のユーザでインストールするか、ご使用システムの管理者にお問い合わせ下さい。

### 2.1 デバイス・ドライバーのインストール

1. デバイス(製品)は接続しないでください。付属の CD-ROM をコンピュータにセットして CD-ROM 内の「x86(32bit)¥DRIVER」フォルダを開きます。
2. ドライバフォルダ内にある「INSTALL」ファイル(お使いのシステムの設定によっては「INSTALL.BAT」と表示されます)をダブルクリックして実行します。

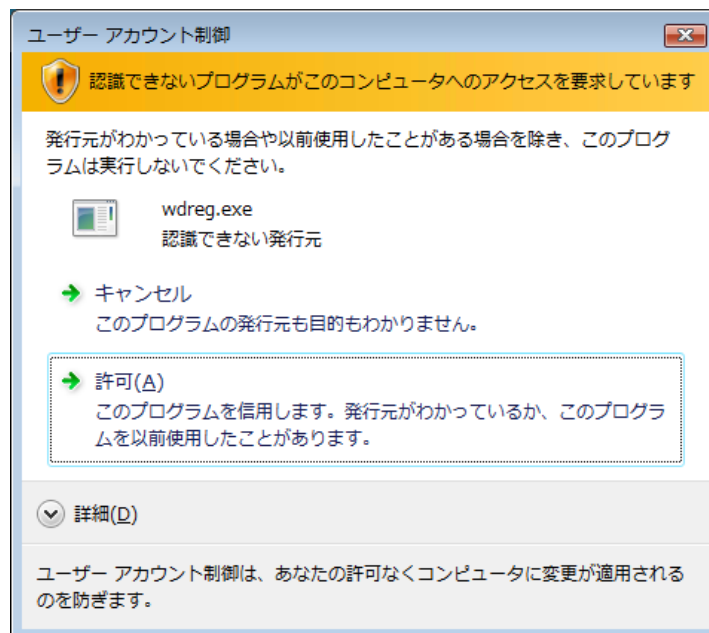


3. “システムファイルをインストールしています”、“ドライバファイルをインストールしています”と表示され、しばらくすると終了します。何かキーを押して画面を閉じます。



4. 本機を付属の USB ケーブルで PC に接続すると自動的に認識し、使用可能な状態になります。

※ 途中で「認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています」と表示された場合はプログラムが `wdreg.exe` である事を確認して「許可」を選択してください。これは複数回表示される事があります。

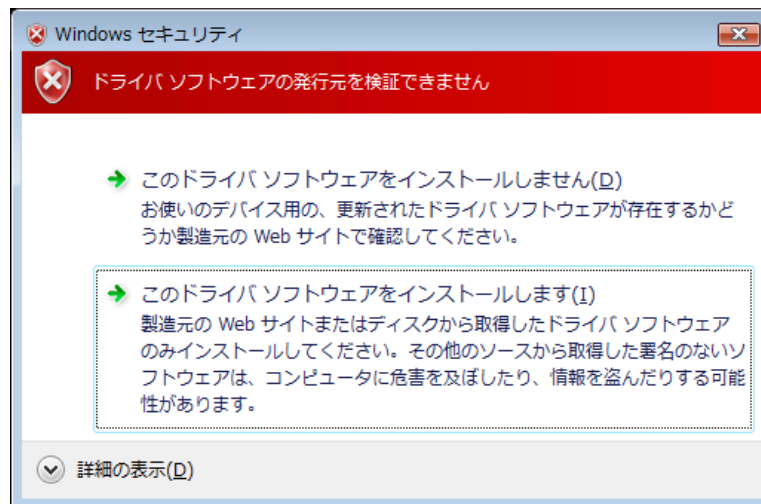




※ 途中で「このデバイスソフトウェアをインストールしますか？」と表示された場合は名前が Jungo、発行元が Jungo LTDであることを確認して「インストール」を選択してください。



※ 途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示された場合は「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください。



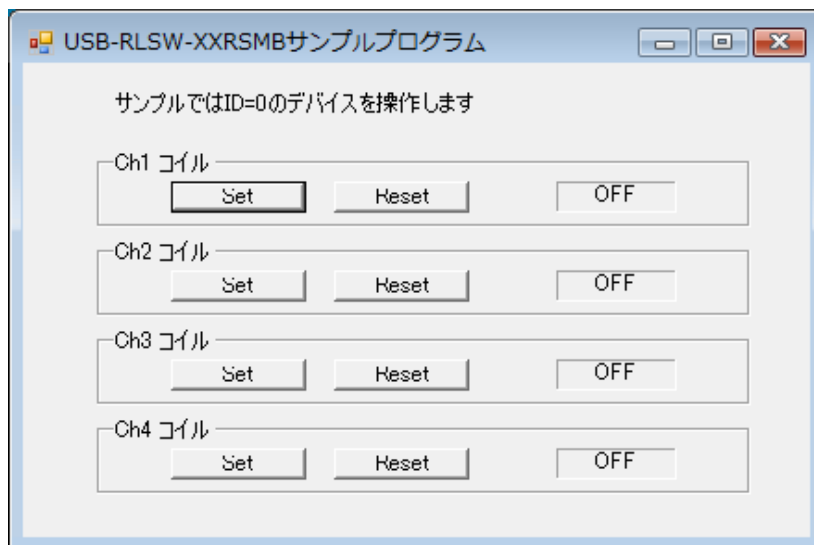
※ 途中で「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。」と表示されたら「いいえ」を選んでください。同じバージョンのドライバがインストールされるときにもこの画面が表示される事があります。

Windows OS は最新のバージョンおよび最新のサービスパックを推奨いたします。

## 2.2 サンプルプログラムによる動作確認

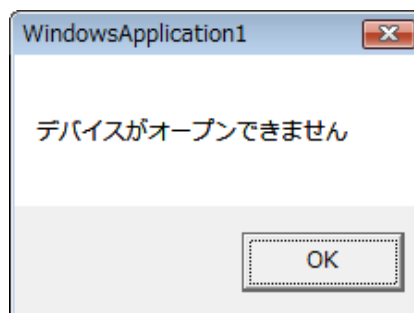
附属 CD-ROM には、サンプルプログラムとして VB6(Microsoft Visual Basic 6.0)、VC(Microsoft Visual C++ 6.0)、VBNET(Microsoft Visual Basic .NET 2003)の3種類を収録してあります。VB6 と VBNET のコンパイル結果としての実行ファイル (VB6⇒Project1.exe) (VBNET⇒WindowsApplication1.exe) があります。ここでは VBNET サンプルの実行ファイル WindowsApplication1.exe を使用してインストールが正常に行われているかを確認します。(PC の環境により日本語が文字化けする場合がありますが動作に支障はありません)

本機を接続したまま、附属 CD-ROM より¥x86(32bit)¥WindowsApplication1.exe を PC の任意の場所のハードディスクフォルダへコピーしてダブルクリックします。



サンプルでは本機の ID が 0(全て OFF)になっている場合のみ上記の画面が表示されます。ここで各々 Set や Reset ボタンを操作することにより、リレーの動作音が鳴り接点が開閉(本機 LED または本機 a/c/b 接点をテスト等でチェック)することを確認できます。

ID が 0 以外など何らかの原因で本機の USB 接続に問題がある場合には下記の画面が表示されます。その際に Windows のデバイスマネージャー上で、本機 USB の抜き差しに反応する【?】や【!】が表示されているハードウェアがあれば、そのドライバーを削除後 PC を再起動し、あらためて本機デバイス・ドライバーのインストールを行います。

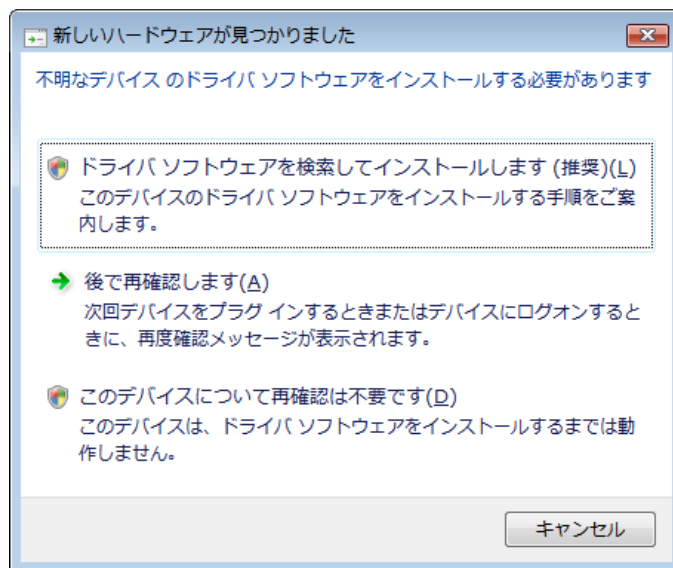


### 3 Windows Vista (64bit)

- ・以下の作業は本機を最初にご使用になる際の初回のみ行います。
- ・2回目以降は本機をご使用のコンピュータに接続すると自動的に認識します。
- ・設定されている権限によってはドライバのインストールが出来ない事があります。
- ・その場合適切な権限のユーザでインストールするか、ご使用システムの管理者にお問い合わせ下さい。

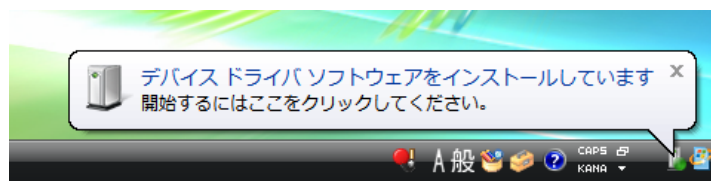
#### 3.1 デバイス・ドライバーのインストール

1. デバイス(製品)を接続する前に付属の CD-ROM をコンピュータにセットします。
2. 本機を付属の USB ケーブルで PC に接続すると下記の画面が表示されます。

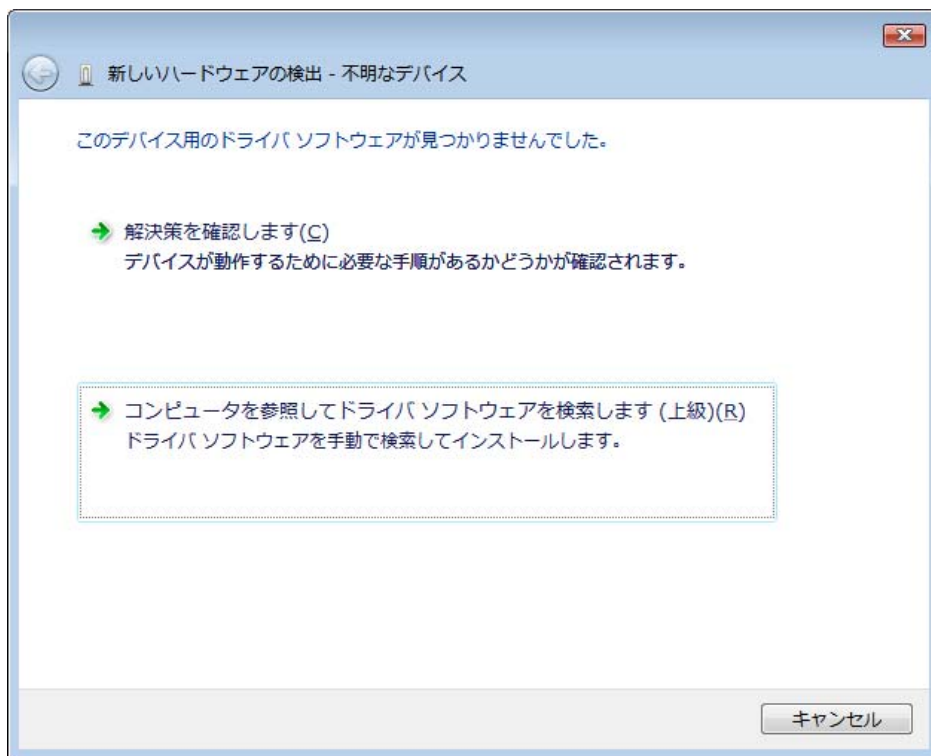


ここでは「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」を選択します。

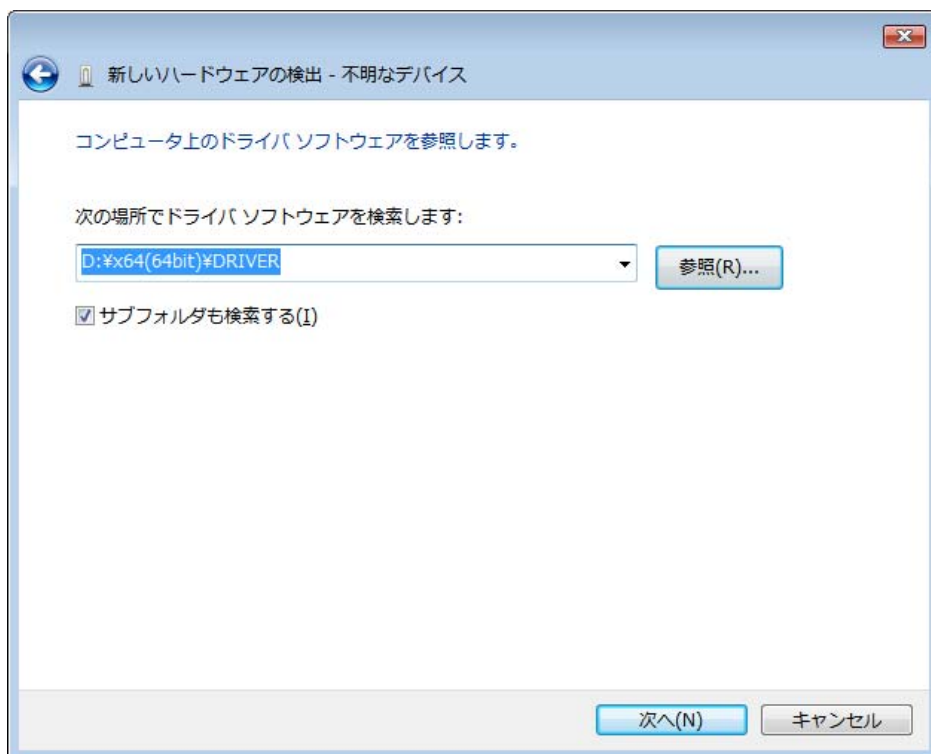
3. デバイス・ドライバーのインストールが開始されると下記の画面が表示されます。



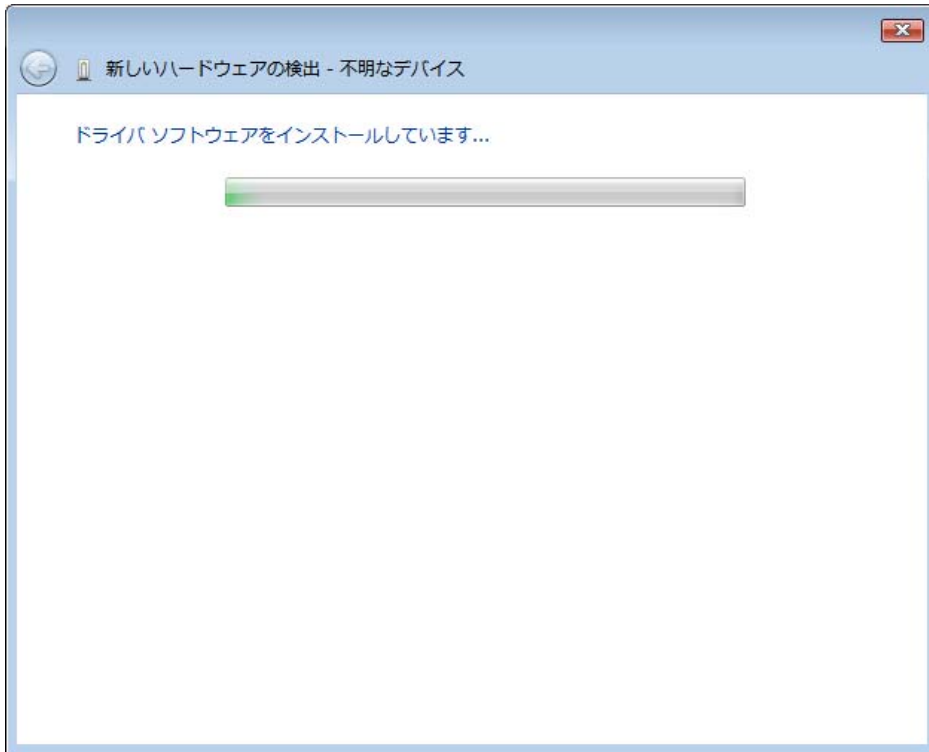
4. インストール開始後、しばらくすると自動でのインストールができずに下記の画面が表示されます。「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します」を選択し、デバイス・ドライバーを手動インストールします。



5. ドライバファイルがあるフォルダーを指定するために下記の画面が表示されたら CD-ROM 内の「x64(64bit)¥DRIVER」フォルダを指定し「サブフォルダも検索する」の項目にチェックを入れて「次へ」をクリックします。



6. インストール中は下記の画面が表示されます。インストールには数分間かかります。

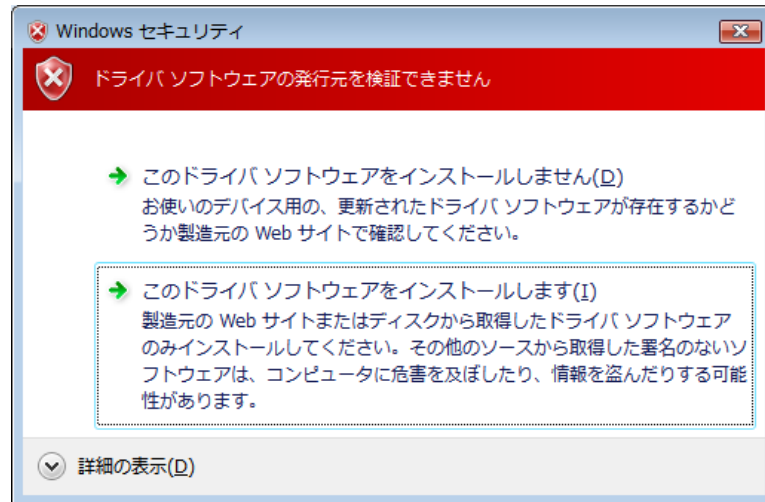


7. インストールが完了するとデスクトップに下記の画面が表示されたら「閉じる」を選択し、PC を再起動させてインストールを完了させます。



※ 途中で「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示された場合はデバイスドライバソフトウェアのインストールであることを確認して「**続行**」を選択してください。

※ 途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示された場合は「**このドライバソフトウェアをインストールします**」を選択してください。



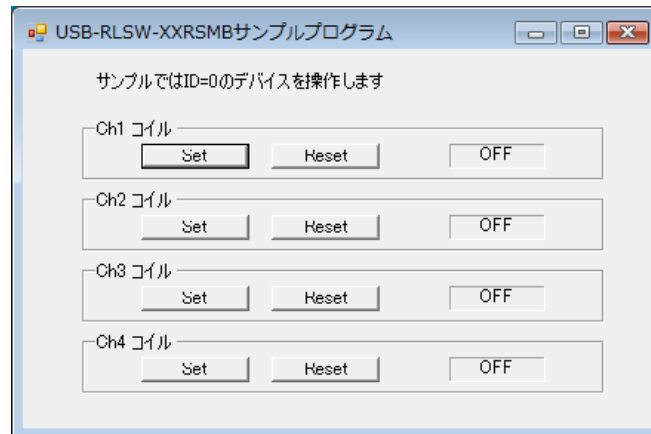
※ 途中で「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。」と表示されたら「**いいえ**」を選んでください。同じバージョンのドライバがインストールされるときにもこの画面が表示される事があります。

Windows OS は最新のバージョンおよび最新のサービスパックを推奨いたします。

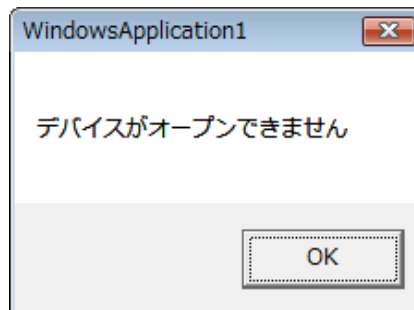
### 3.2 サンプルプログラムによる動作確認

附属 CD-ROM には、サンプルプログラムとして VBNET(Microsoft Visual Basic .NET 2010)用を収録してあります。コンパイル結果としての実行ファイル WindowsApplication1.exe を使用してインストールが正常に行われているかを確認します。

本機を接続したまま、附属 CD-ROM より¥x64(64bit)¥WindowsApplication1.exe を PC の任意の場所のハードディスクフォルダへコピーしてダブルクリックします。



サンプルでは本機の ID が 0(全て OFF)になっている場合のみ上記の画面が表示されます。ここで各々 Set や Reset ボタンを操作することにより、リレーの動作音が鳴り接点が開閉(本機 LED または本機 a/c/b 接点をテスト等でチェック)することを確認できます。



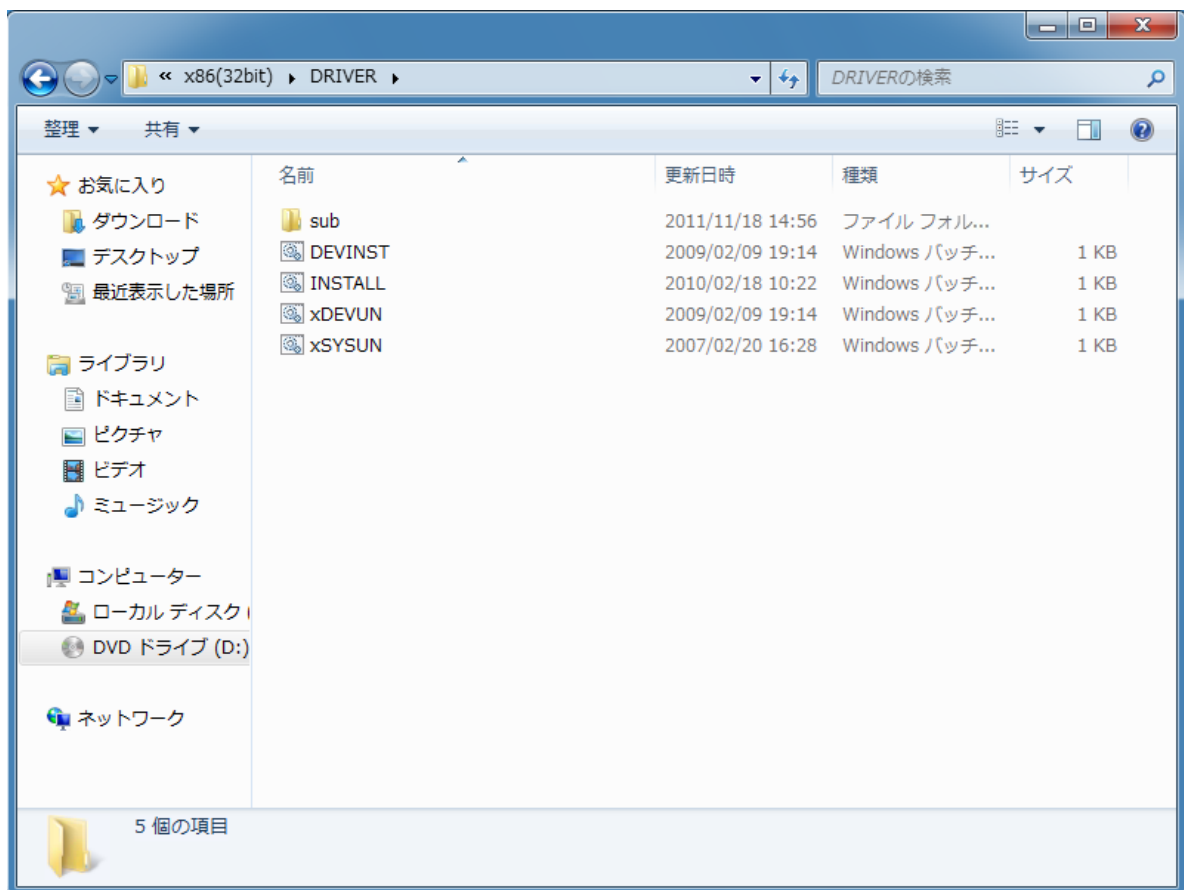
ID が 0 以外など何らかの原因で本機の USB 接続に問題がある場合には上記の画面が表示されます。その際に Windows のデバイスマネージャー上で、本機 USB の抜き差しに反応する【?】や【!】が表示されているハードウェアがあれば、そのドライバーを削除後 PC を再起動し、あらためて本機デバイス・ドライバーのインストールを行います。

## 4 Windows 7 (32bit)

- ・以下の作業は本機を最初にご使用になる際の初回のみ行います。
- ・2回目以降は本機をご使用のコンピュータに接続すると自動的に認識します。
- ・設定されている権限によってはドライバのインストールが出来ない事があります。
- ・その場合適切な権限のユーザでインストールするか、ご使用システムの管理者にお問い合わせ下さい。

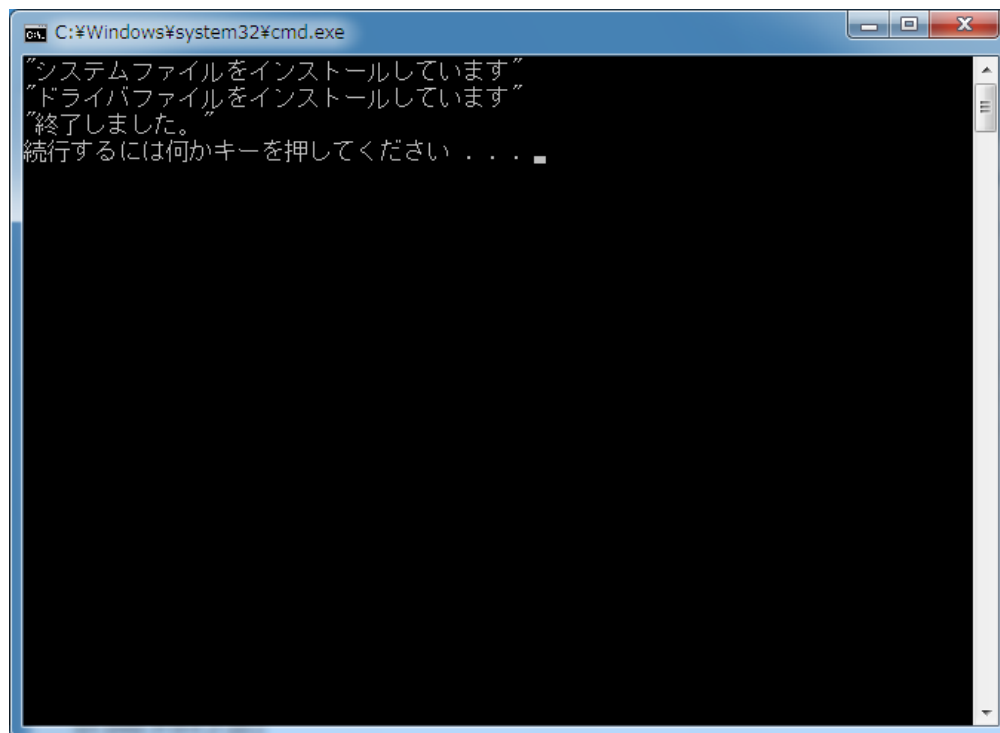
### 4.1 デバイス・ドライバーのインストール

1. デバイス(製品)は接続しないでください。付属の CD-ROM をコンピュータにセットして CD-ROM 内の「x86(32bit)¥DRIVER」フォルダを開きます。
2. ドライバフォルダ内にある「INSTALL」ファイル(お使いのシステムの設定によっては「INSTALL . BAT」と表示されます)をダブルクリックして実行します。

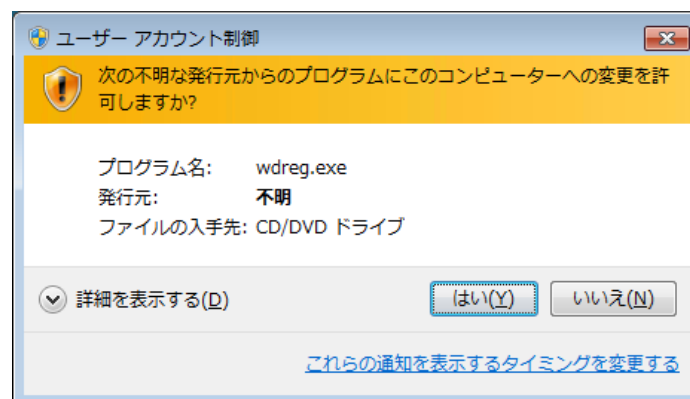




3. “システムファイルをインストールしています”、“ドライバファイルをインストールしています”と表示され、しばらくすると終了します。何かキーを押して画面を閉じます。



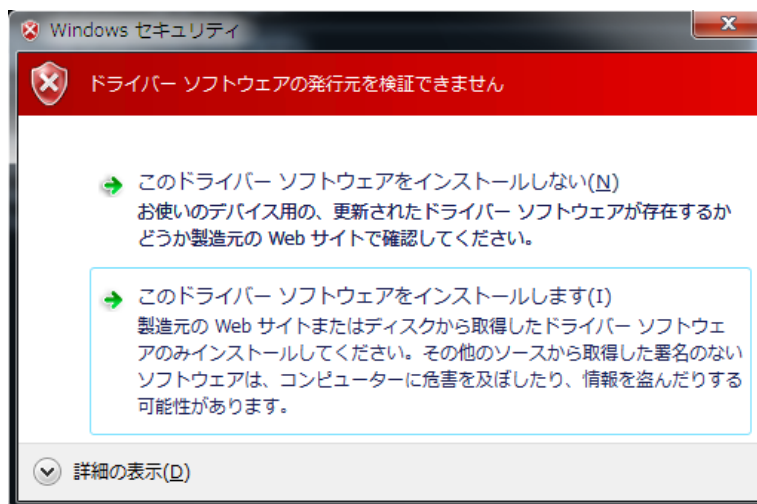
- ※ 途中で「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合はプログラムが `wdreg.exe` である事を確認して「はい」を選択します。これは複数回表示される事があります。



※ 途中で「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」と表示された場合は名前が Jungo、発行元が Jungo LTDであることを確認して「インストール」を選択してください。



※ 途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示された場合は「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください。



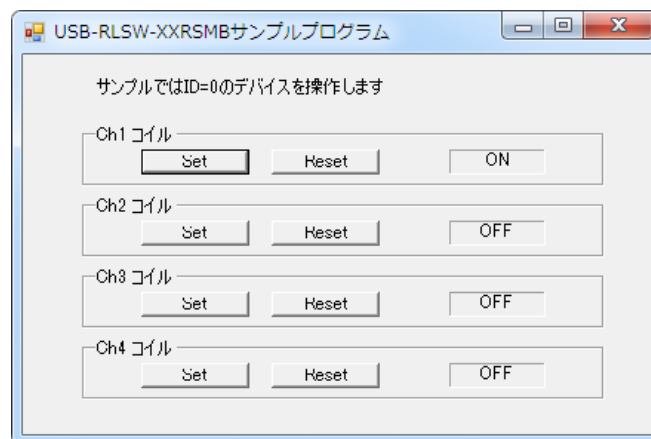
※ 途中で「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。」と表示されたら「いいえ」を選んでください。同じバージョンのドライバがインストールされるときにもこの画面が表示される事があります。

Windows OS は最新のバージョンおよび最新のサービスパックを推奨いたします。

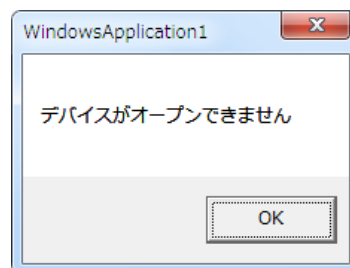
## 4.2 サンプルプログラムによる動作確認

附属 CD-ROM には、サンプルプログラムとして VB6(Microsoft Visual Basic 6.0)、VC(Microsoft Visual C++ 6.0)、VBNET(Microsoft Visual Basic .NET 2003)の3種類を収録してあります。VB6 と VBNET のコンパイル結果としての実行ファイル (VB6⇒Project1.exe) (VBNET⇒WindowsApplication1.exe) があります。ここでは VBNET サンプルの実行ファイル WindowsApplication1.exe を使用してインストールが正常に行われているかを確認します。(PC の環境により日本語が文字化けする場合がありますが動作に支障はありません)

本機を接続したまま、附属 CD-ROM より¥x86(32bit)¥WindowsApplication1.exe を PC の任意の場所のハードディスクフォルダへコピーしてダブルクリックします。



サンプルでは本機の ID が 0(全て OFF)になっている場合のみ上記の画面が表示されます。ここで各々 Set や Reset ボタンを操作することにより、リレーの動作音が鳴り接点が開閉(本機 LED または本機 a/c/b 接点をテスタ等でチェック)することを確認できます。



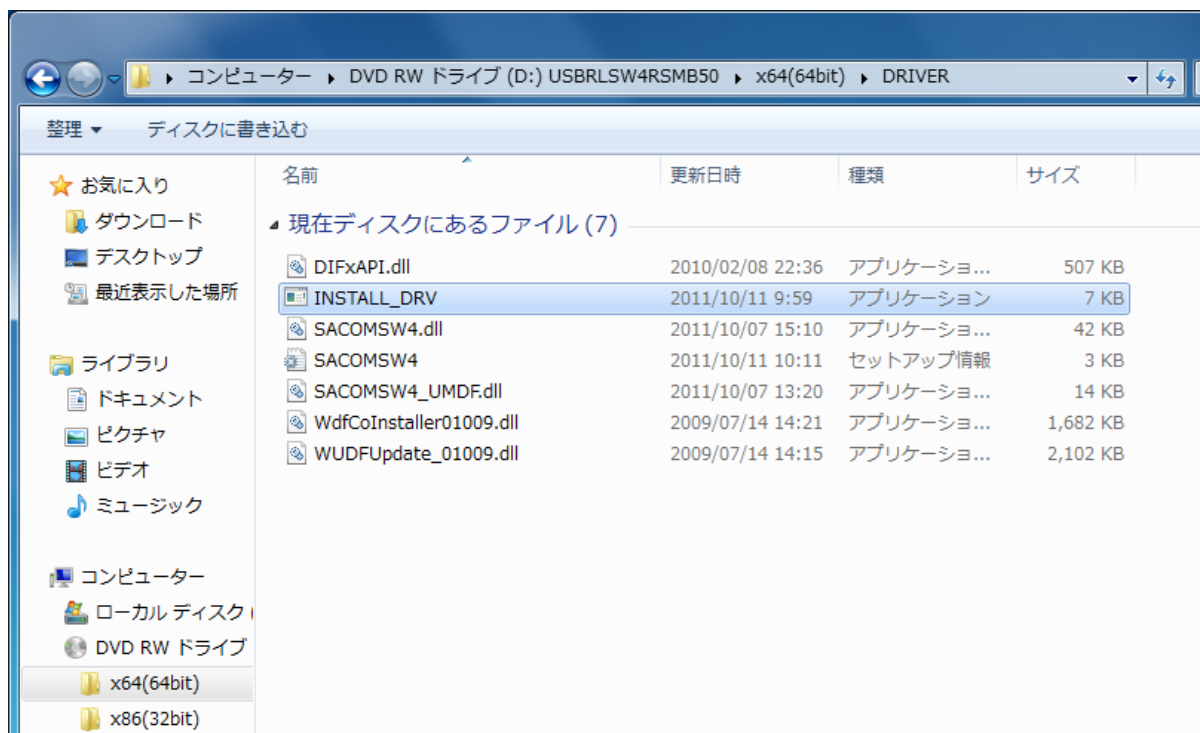
ID が 0 以外など何らかの原因で本機の USB 接続に問題がある場合には上記の画面が表示されます。その際に Windows のデバイスマネージャー上で、本機 USB の抜き差しに反応する【?】や【!】が表示されているハードウェアがあれば、そのドライバーを削除後 PC を再起動し、あらためて本機デバイス・ドライバーのインストールを行います。

## 5 Windows 7 (64bit)

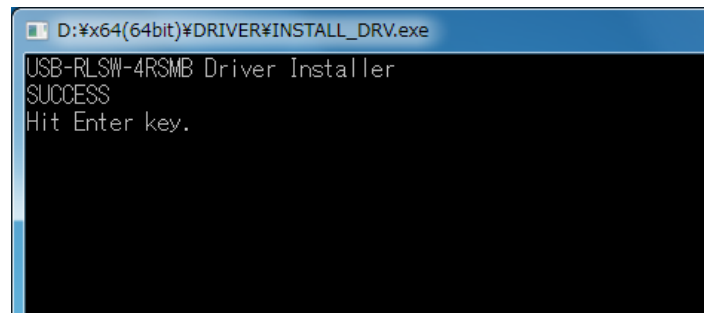
- ・以下の作業は本機を最初にご使用になる際の初回のみ行います。
- ・2回目以降は本機をご使用のコンピュータに接続すると自動的に認識します。
- ・設定されている権限によってはドライバのインストールが出来ない事があります。
- ・その場合適切な権限のユーザでインストールするか、ご使用システムの管理者にお問い合わせ下さい。

### 5.1 デバイス・ドライバーのインストール

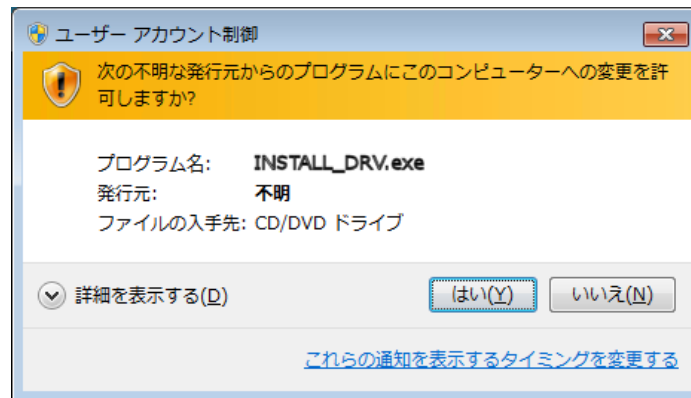
1. デバイス(製品)は接続しないでください。付属の CD-ROM をコンピュータにセットして CD-ROM 内の「x64(64bit)¥DRIVER」フォルダを開きます。
2. ドライバフォルダ内にある「INSTALL\_DRV」ファイル(お使いのシステムの設定によっては「INSTALL\_DRV.exe」と表示されます)をダブルクリックして実行します。



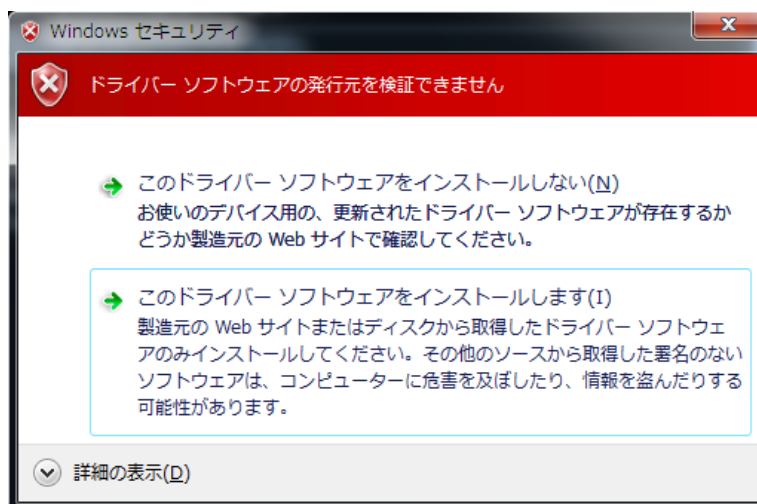
3. “USB-RLSW-4RSMB Driver Installer”と表示され、しばらくすると終了します。Enter キーを押して画面を閉じます。



- ※ 途中で「次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示された場合はプログラムが `INSTALL_DRV.exe` である事を確認して「はい」を選択してください。これは複数回表示される事があります。



- ※ 途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」と表示された場合は「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください。



- ※ 途中で「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。」と表示されたら「いいえ」を選んでください。同じバージョンのドライバがインストールされるときにもこの画面が表示される事があります。

Windows OS は最新のバージョンおよび最新のサービスパックを推奨いたします。

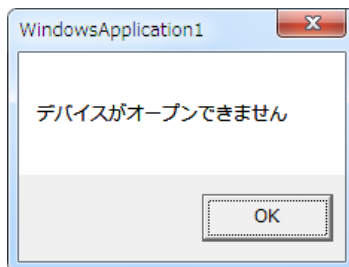
## 5.2 サンプルプログラムによる動作確認

附属 CD-ROM には、サンプルプログラムとして VBNET(Microsoft Visual Basic .NET 2010)用を収録してあります。コンパイル結果としての実行ファイル WindowsApplication1.exe を使用してインストールが正常に行われているかを確認します。

本機を接続したまま、附属 CD-ROM より¥x64(64bit)¥WindowsApplication1.exe を PC の任意の場所のハードディスクフォルダへコピーしてダブルクリックします。



サンプルでは本機の ID が 0(全て OFF)になっている場合のみ上記の画面が表示されます。ここで各々 Set や Reset ボタンを操作することにより、リレーの動作音が鳴り接点が開閉(本機 LED または本機 a/c/b 接点をテスト等でチェック)することを確認できます。



ID が 0 以外など何らかの原因で本機の USB 接続に問題がある場合には上記の画面が表示されます。その際に Windows のデバイスマネージャー上で、本機 USB の抜き差しに反応する【?】や【!】が表示されているハードウェアがあれば、そのドライバーを削除後 PC を再起動し、あらためて本機デバイス・ドライバーのインストールを行います。

## 6 連絡先

システムサコム工業株式会社

〒130-0026

東京都墨田区両国 1-12-10

カネオカビル6F

TEL 03-6659-9261

FAX 03-6659-9264

ホームページ <http://www.sacom.co.jp>

メール [info@sacom.co.jp](mailto:info@sacom.co.jp)

20170110